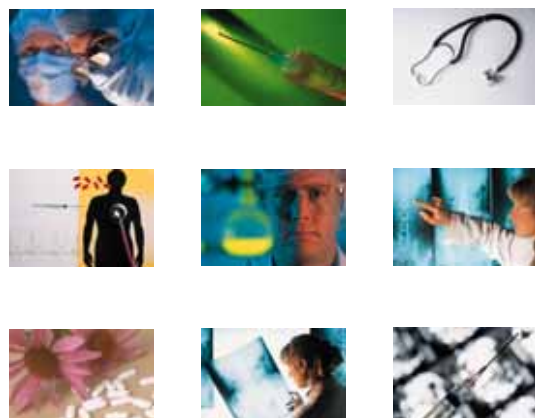


日本大学商学部 高橋淑郎 教授 監修

事業計画のための 病院バランスト・スコアカード活用 ワークショップ 2006

実践 院内推進責任者養成コース

バランスト・スコアカードの導入を体験する実践的なプログラムです。自院をケーススタディに研修を進めるため、当研修参加後は、バランスト・スコアカード導入に大いに役立ちます。



開催時期	第5回	2006年6月23日(金)~24日(土)
会場	第5回	(社)日本能率協会 研修室
対象	将来指向の経営管理体制の構築とその確実な実行を期したい病院の方々(病院長等経営者、事務部門・医局責任者、部門責任者の方)	
主催	株式会社日本能率協会総合研究所	
座長	高橋 淑郎	日本大学商学部 教授
特別講師	未定	
講師	日本能率協会総合研究所 コンサルタント	
定員	8病院(1病院3名まで)	
料金	294,000円(税込)/病院	

～ごあいさつ～

病院におけるバランスト・スコアカードの利用も、実践の段階に入ってきたといえます。BSCは、実際に行ってみないと理解できません。頭で考えても、それだけでは何の役には立ちません。まずは、作成プロセスを体験してみましょう。この2日間のコースには、病院でリーダーとなって推進していただけるよう要件がすべて織り込まれています。是非、ご参加いただいて、病院BSCの伝道師となっていただくようお願いいたします。

高橋淑郎



本プログラムの5つの特徴

バランスト・スコアカード（BSC）のわが国産業界への普及をリードする日本能率協会グループによるプログラムです。

病院BSCの第一人者、日本大学商学部教授 高橋 淑郎氏を座長とし、BSC導入先進医療機関からの特別講師を招き、2日間密度の濃い研修を行います。

自院をケーススタディとして、意識改革とバランスト・スコアカード手法の導入活用を体験する実践的プログラムです。

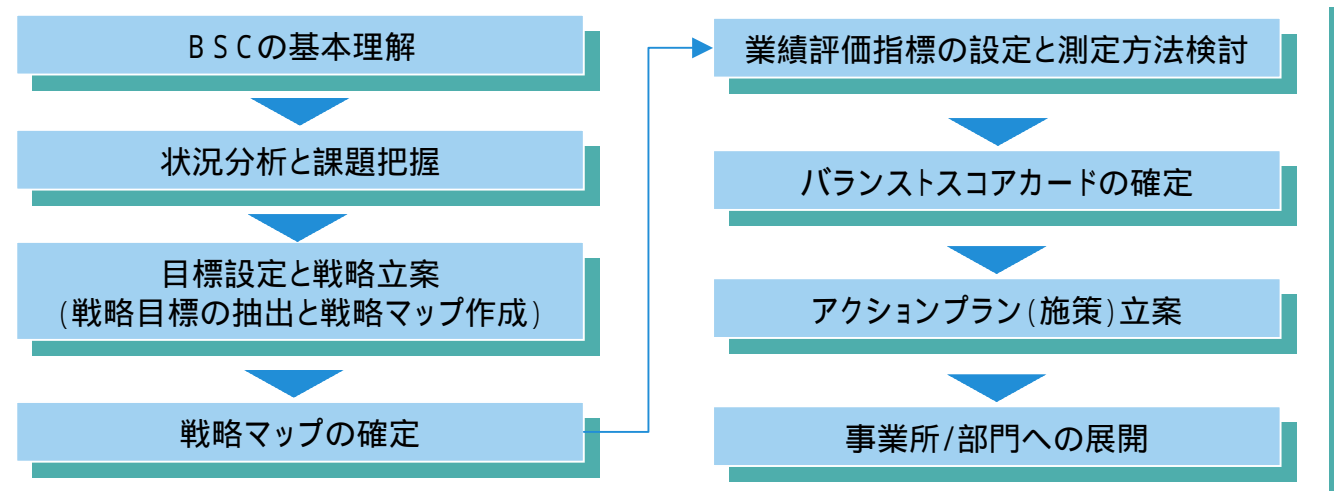
自院をケーススタディとした実践的プログラムなので、院内での推進責任者（ファシリテーター）の育成と研修終了後のバランスト・スコアカードの導入にダイレクトに役立ちます。

研修では各院のかかえる課題について分かち合い・討議を行うため、シナジー効果による課題発見と解決の取り組みについて明らかにすることができます。

研修内容

- ◆研修効果を高めるために、ご参加いただくにあたり、参加各院にはふりかえりのための事前学習に取り組んでいただきます。
- ◆実際のBSC導入ステップに添って研修を進めていきます。
- ◆BSC導入の各ステップ毎に講義を行い、十分ご理解頂いた上で、演習に取り組んで頂きます。
- ◆演習は、自院をケーススタディとして、グループ毎に行います。
- ◆演習の結果を発表し、参加組織が抱える共通の課題、個別の課題について討議し、解決の方向性を明らかにします。

研修の進め方



研修効果を高めるための事前学習への取り組みのお願い

当研修へご参加頂くにあたり、事前に以下の課題に取り組んでいただきます。

【課題1】BSCに関連する書籍を1冊はお読みください。

参考書籍「病院価値を高めるバランスト・スコアカード BSC推進者のための実践ガイドブック -」
(メディカル・パブリケーションズ生産性出版 2005年出版)

【課題2】予め外部分析・内部分析を実施して頂きます。

指定のフォーマットに従って、予め外部分析(顧客と競合について当院の弱み、強みの洗い出し)と内部分析(当院の経営資源に見る強み弱みの洗い出し)に取り組んで頂きます。
(研修当日にご持参ください)

対象組織

- ◆複数施設の統一的管理手法としてBSCのメリット・効果を活用したいとお考えの組織
- ◆経営ビジョン・中長期計画・年度計画・日常業務の連鎖を徹底したいとお考えの組織
- ◆管理の基盤がなく、科学的な管理手法導入を検討している組織
- ◆業務の方法を見直すことなく、慣例でルールがとり決められている、またはルールが不明確な組織
- ◆TQMでの方針展開が十分浸透されず中途半端になっている組織
- ◆QCサークルその他の活動を導入しようとしたが上手く活動できなかった組織
- ◆部門間の連携が上手くいかず、組織的な活動が出来ていないとお考えの組織
- ◆次期幹部候補や中堅リーダー層の育成を目指す組織
- ◆現場の業務の目標と経営目標との一体的な運用が不十分で、動きがバラバラな組織

研修後のフォローについて

研修にご参加いただき、BSCを導入される場合、BSC導入の進め方等でご不明な点がございましたら、メールにて随時ご相談(無料)を承ります。

各種支援プログラム(有料)もご用意しております。

前回の弊社病院バランスト・スコアカード活用ワークショップご参加者の声(2004年12月開催)

「本だけでは実感しにくかったことがよく理解できた。早速、取り組んでみたい。」(医療法人E会)

「演習を通じてBSC作成における因果連鎖の考え方を学ぶことができた。」(医療法人社団H)

「今まで、色々な改善提案や目標に取り組んできたものの、科学的評価ができなかった。BSCを活用することでわかりやすい評価ができるとともに、経営目標を院内全体のものとすることができると感じた。」(市立K市民病院)

「BSCについて知識がない自分でも、ここまでできたことに講師の先生はじめスタッフのみなさまに感謝致します。とても有意義な2日間でした。」(医療法人R会)



開催プログラム・タイムテーブル予定

日本大学商学部教授高橋淑郎氏を座長として実施致します。また、先進医療機関からの特別講師をお招きし、BSC導入の先進事例のご紹介も致します。

ワークショップ1日目		座長
1. 開催挨拶・自己紹介	10:00~10:30	座長 高橋 淑郎 日本大学 商学部 教授
2. 講義1: 医療BSC実践入門(高橋淑郎教授)	10:30~11:30	
3. 講義2: 環境分析とビジョンの設定について	11:30~12:00	
- x - - - x - - - 昼 食 - - - x - - - x -		
4. 演習1: SWOT分析による経営目標の設定	13:00~14:30	
5. 講義3: 戦略目標の抽出と戦略マップの作成について	14:30~15:15	
- x - - - x - - - 休 憩 - - - x - - - x -		
6. 演習2: 戦略目標の抽出	15:30~17:00	
7. 事例1: 特別講師の事例に学ぶ	17:00~18:00	
- x - - - x - - - 軽 食 - - - x - - - x -		
8. 演習3: 戦略マップの作成	18:30~20:15	
9. 全体レビュー	20:15~20:30	
ワークショップ2日目		
10. プレゼンテーション1: ビジョンの設定と戦略マップの発表	9:00~10:30	
11. 事例2: 特別講師の事例に学ぶ	10:30~11:30	
12. 講義4: スコアカードの作成方法と活用(解析例)	11:30~12:15	
- x - - - x - - - 昼 食 - - - x - - - x -		
13. 演習4: スコアカードの作成	13:15~14:45	
14. プレゼンテーション2: スコアカードの設定	14:45~16:15	
- x - - - x - - - 休 憩 - - - x - - - x -		
15. 講義5: アクションプランの作成と事業所/部門への展開	16:30~17:15	
16. 全体レビュー	17:15~17:30	
閉会		

(申込要領) 下記にご記入の上、FAX願います。追って会場案内等をお送りいたします。切は6月2日(金)です

【申込書送付先及びお問合せ先】

FAX: 03-3578-7614



日本能率協会総合研究所 経営革新支援グループ ヘルスケア革新チーム 担当: 東山(とうやま)

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル6階

TEL: 03-3578-7947 E-mail: healthcare@jmar.co.jp

病院・企業名		(派遣責任者名:)	
ご住所 〒			
電話	-	FAX	-
お名前	役職名	参加費には、2日間の昼食代と1日目の軽食代を含みます。 参加費のお振込先(お振込予定日を左記にてお知らせ願います) みずほ銀行 銀座中央支店 普通預金 No.1213151 口座名義 カニホノクリツキョウカイゴクケンキョウジヨ 恐縮ですが、お振込手数料は貴法人でご負担くださいますようお願い申し上げます。 領収証は、銀行振込受領書にてかえさせていただきます。 ご入金の際、振込者名の前に SV をつけてお振込ください。 例: SVヤマダビヨウイウン	
お名前	役職名		
お名前	役職名		

参加者 合計	人	参加費 合計	円
振込予定日: 平成 18 年 月 日			